

対面形式での「総会」を3年ぶりに開催しました

令和4年7月に、対面形式での総会を3年ぶりに開催しました。

来賓には、相模原市長をはじめ、様々な関係者の皆様にご出席いただきました。

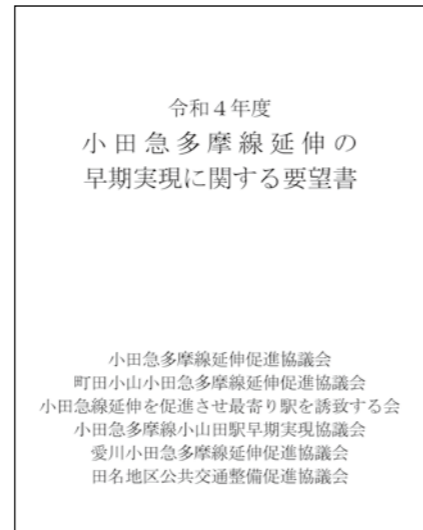
相模原市長からは、「延伸を実現するためには、協議会の皆様をはじめ、議員の皆様、関係団体、民間事業者、そして、行政が一丸となって取組を進めることが、大変重要である。引き続き、延伸の実現に向けて、皆様と共に、取り組んでまいりたい。」と心強いお言葉をいただきました。



要望活動を実施しました

令和4年10月に、小田急多摩線の延伸を促進する住民団体(6団体)で、神奈川県、相模原市、町田市及び小田急電鉄株式会社に対して「小田急多摩線延伸の早期実現」に関する要望を行いました。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響により書面(郵送)での要望活動となっておりますが、まず、上溝までの全線一括整備による延伸の実現に向けて、引き続き、地域の声を届けていきます。



相模原市長との「意見交換会」を開催しました

令和4年8月に、相模原市長及び市関係者と本協議会との「小田急多摩線の延伸に関する意見交換会」を開催しました。

意見交換においては、「相模総合補給廠一部返還地のまちづくりを進めて、相模原市の将来像を示していくことができなければ、延伸を実現することは困難である」と考える。「地域間で小田急多摩線延伸に対する温度差が大きいので、相模原市全体のこととして捉えなければいけない。」など、本協議会の延伸に対する考えや想いを改めて市長へ直接伝えました。

今後も機会を捉え、相模原市へ働きかけを行っていきます。



小田急多摩線延伸促進協議会構成団体

(28団体)

相模原市自治会連合会、各地区自治会連合会(小山、清新、横山、中央、星が丘、光が丘、大野北、大沢、田名) 相模原商工会議所、相模原市商店会連合会、相模原中央商店街協同組合、相模原西商店街協同組合、相模原東商店会、さがみ夢大通り商店会、西門商店街、南橋本商栄会、矢部商工みどり会、田名商工連盟、高校通り商栄会、水郷田名観光協会、田名財産管理委員会、田名地区公共交通整備促進協議会、相模原青年会議所、相模原市農業協同組合、東京地方税理士会相模原支部、神奈川県社会保険労務士会相模原支部

【小田急多摩線延伸促進協議会の概要】

多摩線延伸協議会

検索



<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/toshikotsu/1004835/1004842/1004844.html>

小田急多摩線延伸ニュース

～第20号～

令和5年3月

発行/小田急多摩線延伸促進協議会
(平成14年9月発足)

編集/相模原市 交通政策課

COME TRUE

COME TRUE とは、「実現する、本当になる」という意味を持つ言葉です

延伸の実現に向けて取り組んでいる7団体で、「意見交換会」を開催しました!



近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの取組が難しくなっており、新たな活動を検討するのも、一団体だけでは限界がありました。

そこで、小田急多摩線延伸の実現に向け取り組んでいる他団体との更なる連携強化と有効な活動につなげていくことを目的として、令和5年2月3日(金)に、本協議会と、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」、「田名地区公共交通整備促進協議会」、町田市の「町田小山小田急多摩線延伸促進協議会」、「小田急線延伸を促進させ最寄り駅を誘致する会」、「小田急多摩線小山田駅早期実現協議会」、愛川町の「愛川小田急多摩線延伸促進協議会」の合計7団体で、意見交換会を開催しました。なお、7団体での意見交換会は、本協議会の発足以降、初めての取組となります。

意見交換会の中では、各団体の発足からの経過や日頃の取組についてご紹介いただき、情報共有を図るとともに、「延伸に対する考え方」や「団体の課題」、「今後の取組」などについて意見交換を行いました。

主な意見は次のとおりです。

- ・小田急多摩線の延伸は、収支採算性の確保など様々な課題があり、長期的な活動が必要だと考える。一年ごとに大きな変化はないかもしれないが、延伸実現の一助となるよう、これからも諦めず活動を続けていくとともに、関係機関に対して必要性を伝えていくことが重要だと考える。
- ・地域住民、議会、行政の3本の矢が同じ方向を向いて活動していくことが、大事だと考える。
- ・地域住民から課題や意見を求め、課題等を共有し活動に反映させていくこと、また、課題を分かりやすくしながら地域住民へ発信し、正しい情報を共有していくことが重要である。

様々な意見を踏まえ、今後の進め方について、次のとおり確認されました。

- ◎7団体が連携した活動を行っていく。
- ◎同様の会議を年1回程度開催し、継続的に取り組んでいく。



【参加団体の概要】

- ・小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
設立:平成21年11月
会員数:113名(相模原市、町田市、厚木市、愛川町及び清川村の市町村議会議員)
- ・田名地区公共交通整備促進協議会 【相模原市】
設立:平成19年3月 会員数:103名
- ・町田小山小田急多摩線延伸促進協議会 【町田市】
設立:平成19年7月 会員数:44名

- ・小田急線延伸を促進させ最寄り駅を誘致する会【町田市】
設立:平成20年12月 会員数:27名
- ・小田急多摩線小山田駅早期実現協議会【町田市】
設立:平成30年8月 会員数:約60名
- ・愛川小田急多摩線延伸促進協議会【愛川町】
設立:平成25年5月 会員数:43名

(令和5年1月31日時点)

会長

あいさつ

小田急多摩線延伸促進協議会
会長 竹田 幹夫

小田急多摩線の延伸につきましては、リニア中央新幹線や相模総合補給廠一部返還地のまちづくりとの相乗効果など、首都圏南西部の広域交流拠点として、本市が発展を遂げるために必要な事業です。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの活動が難しくなっておりますが、延伸の実現に向けては、長期的な活動となる中で、地域が諦めずに取り組んでいくことが大変重要となります。

小田急多摩線延伸の実現に向け、引き続き、地域の皆様・市民の皆様と団結して取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小田急多摩線延伸に関するこれまでの主な取組

本協議会は、平成14年度の発足から様々な活動に取り組み、本年度に20周年を迎えました。そこで、これまでの総まとめとして、小田急多摩線延伸に関する主な取組を振り返ってみましょう。

2002年(平成14年)～	2010年(平成22年)～	2015年(平成27年)～	2020年(令和2年)～
<p>国 運輸政策審議会 答申第18号に位置付け</p> <p>国 在日米軍再編協議において 相模総合補給廠の一部返還が基本合意</p> <p>市 「小田急多摩線延伸検討会」を発足</p> <p>市 「小田急多摩線の延伸促進に関する連絡会」を発足</p>	<p>市 「小田急多摩線延伸計画に関する研究会」を発足</p> <p>国 相模総合補給廠の一部が国へ返還</p> <p>市 小田急多摩線延伸計画に関する調査結果の公表</p>	<p>国 交通政策審議会答申において、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の一つに位置付け</p> <p>市 小田急多摩線延伸に関する関係者会議を発足</p> <p>市 小田急多摩線延伸に関する調査のまとめを公表</p>	<p>県 「かながわ交通計画」が改定され、上溝～愛川・厚木方面が構想路線に位置付け</p> <p>市 ・「相模原駅北口地区土地利用方針」の策定 ・「相模原駅北口地区土地利用計画の方向性」中間まとめを公表</p>
<p>「小田急多摩線延伸促進協議会」を発足</p> <p>小田急多摩線延伸の実現を目指すため、小山・清新・横山・中央・星が丘・光が丘・大沢・上溝地区自治会連合会及び8商店会により「小田急多摩線延伸促進協議会」を9月に発足しました。</p> <p>「小田急多摩線延伸ニュース第1号」を発行</p> <p>小田急多摩線の延伸や本協議会の活動などについて、PRや最新情報の提供を行うことを目的に始めました。相模原市のホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。</p>	<p>「小田急多摩線延伸音頭」を披露</p> <p>小田急多摩線延伸の機運を高めるために企画・制作されました。「さがみはらフェスタ」等で披露していました。</p> <p>設立10周年記念事業 マスコットキャラクター「ロマンくん」を決定</p> <p>本協議会のマスコットキャラクターのデザインと愛称を一般公募しました。「ロマンくん」は、電車をモチーフに矢印で延伸を表現し、延伸によって相模原市に発展のロマンをもたらす期待を込めています。</p>	<p>「ロマンくん」の新たなデザインを作成</p> <p>女子美術大学デザインルームに所属する学生に「ロマンくん」の新たなノベルティグッズのデザインをしていただきました。「虹」をモチーフにしたデザインには、「希望」や「架ける」と共に、「未来に広がっていく」という意味が込められています。</p> <p>延伸の早期実現に関する「署名活動」を実施</p> <p>2015年に想定される国の交通政策審議会の答申に本路線が位置付けられるよう、相模原市・町田市・愛川町の住民団体と協調して署名活動を実施しました。集められた署名は、2014年に相模原市長から国土交通大臣へ提出されました。2016年の交通政策審議会答申で、「小田急多摩線の延伸」が意義のあるプロジェクトとして位置付けられたことは、本協議会で取り組んできた活動の成果でもあり、延伸の実現に向けて大きな一歩につながりました。</p>	<p>小田急多摩線延伸に向けた「勉強会」の開催</p> <p>他市町の住民団体の会長、小田急電鉄株式会社、相模原市・町田市の職員を招き、小田急多摩線延伸に向けた勉強会を開催しました。</p>

国や市などの動き・取組

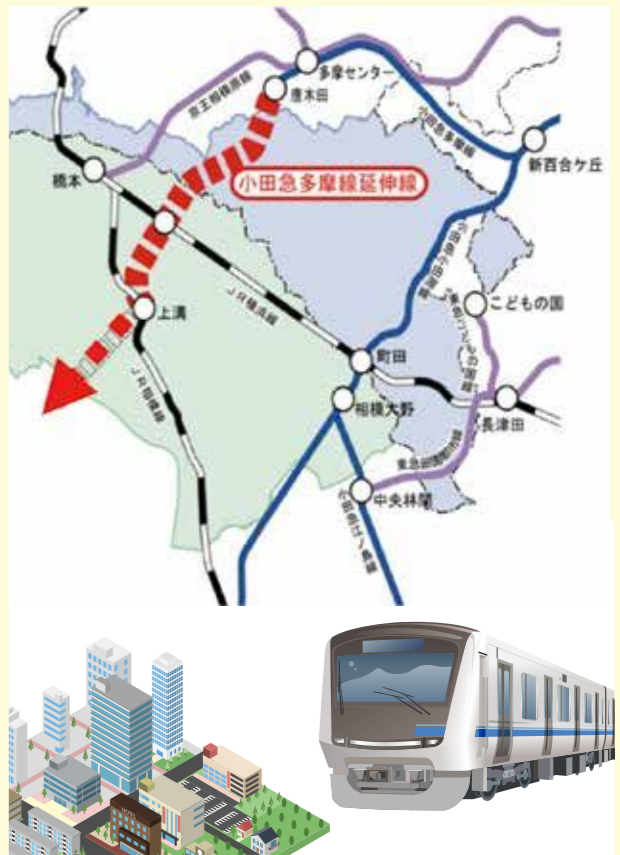
本協議会の取組

「小田急多摩線の延伸」とは

相模原市及び町田市と都心部とのアクセス利便性の向上を期待される路線として、現在、新百合ヶ丘から唐木田まで整備されている小田急多摩線について、町田市を通り、JR横浜線相模原駅、JR相模原線上溝駅、更には、田名地区を経由し、愛川・厚木方面へ延伸する計画です。

相模原市を含む東京圏の都市鉄道は、国土交通省における交通政策審議会の答申に基づき、整備・検討が進められてきています。

2016年(平成28年)の答申には、おおむね15年後を念頭に置いた、地下鉄、民鉄線、JR在来線のほか、モノレールなどの鉄軌道を対象として、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」がまとめられ、現在は、この答申に基づき、小田急多摩線の延伸に向けた検討が進められています。



わたしたちも「小田急多摩線延伸促進活動」を応援しています。

一生運のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group

安心の先にある幸せへ。

第一生命は創業以来、生命保険を通じて安心をお届けしてきました。人生100年時代を迎え、一人ひとりの価値観が多様化する今、もっと私たちにできることがあるはず。笑顔、夢、希望があふれる毎日と未来のために、私たちは生命保険の枠を超えて、一人ひとりの「クオリティ オブ ライフ (QOL)」向上に貢献していきます。「一生運のパートナー」として、できることを、まっすぐに。

第一生命保険株式会社
八王子支社 橋本第一営業オフィス
〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-4-15 Flos橋本7階
TEL 050-3782-2762 (代) 受付時間 平日午前10時～午後5時
第一生命ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

家族葬のご相談は三井メモリアル

TEL: 042-790-0301

CEREMONY & PARTY

A·DOMANI

日本料理志村

宴会・仕出し・出張パーティー

TEL.042-756-6633

www.a-domani.net

千代田星が丘ホール

相模原市中央区星が丘4-17-17

家族葬対応ホール

上溝駅徒歩8分

あたたかい家族葬。千代田セレモニー

TEL 0120-01-9876